

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### 議会解散・期限前議会選挙に向けた動き

- ・11日、共産党は、国民投票の不成立は与党連合に対する野党の勝利である旨の声明を発表。
- ・13日、憲法裁判所は、現時点での議会解散の必要性及び解散にかかる条件を21日に発表すると公表。(21日、憲法裁判所は、ギンブ大統領代行は議会を解散する義務があるとの判断を発表。)
- ・13日、A EI所属議員は、ヴォローニン前大統領の息子であるオレグ・ヴォローニン氏が期限前議会選挙を経て共産党代表として大統領選挙に出馬する可能性に言及。
- ・15日、A EI所属各党党首は、今議会会期中に来年度国家予算案を採択することは不可能であるとの見解を発表。
- ・16日、民主党は、「統一モルドバ」と協力関係を築く合意を結んだと発表。
- ・16日、共産党は、6月にA EIが議会選挙の際の議席配分にかかる法律をヴェニス委員会の審査を経ずして与党連合にとって有利となるよう改正したとし、同改正の無効化を議会に請求。しかし、17日、議会は、同改正は有効との見解を示し、共産党の請求を棄却。
- ・17日、ギンブ大統領代行は、11月28日に期限議会選挙を実施する意向を表明、A EIが次期議会において大統領選出に必要な61議席を獲得できなかった場合は、再度国民投票を行う必要があると発言。

#### その他

- ・14日、ギンブ大統領代行は、ルーマニア正教会主教等聖職者を叙勲する大統領令を发出。
- ・17日、A EIは、ルプ民主党党首が議会を欠席したことにより、国旗掲揚にかかる法案の採択に失敗。

### 2. 沿ドニエストル

- ・13日、スミルノフ沿ドニエストル「大統領」は、今後ウィーンで開催予定の「5+2」非公式協議への参加を見送る可能性につき発言。
- ・14日、シューベル駐モルドバEU大使は、ヤストレブチャク沿ドニエストル「外相」と会談、現在EUが沿ドニエストルで主導している保健及びビジネス関連プロジェクトに加え、一連の人道関連プロジェクトを開始する用意があることを伝達。
- ・15日、キシナウ - オデッサ路線の旅客鉄道運行が、本年10月より2012年12月31日まで再開されることが決定。
- ・16日、ヤヌコーヴィチ・ウクライナ大統領は、ハルチェンコ前駐英ウクライナ大使を沿ドニエストル問題解決特別代表に

任命する大統領令を发出。

- ・16日、ラヴロフ露外相は、同日開催された第4回ウクライナ・露国際協力国家委員会下部委員会合会で沿ドニエストル問題解決の問題が協議され、ウクライナと露が「5+2」協議で合意成果が生まれるよう然るべく貢献することで合意したと発言。
- ・16日、露外務省は、27及び28日に「5+2」非公式協議をウィーンで実施し、準備会合を21及び22日にキシナウにて実施すると発表。

### 3. 経済

#### マクロ経済

- ・国家統計局は、8月の前年同月比インフレ率は7.8%と発表。

#### CIS経済関連会合

- ・14日、ラザル副首相兼経済相は、CISの自由貿易圏に関する協議のため16日にモスクワにて開催されるCIS経済相会合に参加、その後、17日に開かれる第47回CIS経済諮問委員会に出席。

#### 対モルドバ支援

- ・13日、ウクライナ政府は、非常事態省が12万グリブナをモルドバでの洪水支援に供与と発表。
- ・13日、ヌワンツェ国際農業開発基金(IFAD)総裁は、モルドバにおける農業発展及び農業生産者支援のため2,000万ドルの資金協力をを行う予定と発言。

#### 農業

- ・15日、露農作物検疫監視局は、農業食品産業省が提出した青果輸出業者のリストを却下。

### 4. 外政

#### 11～14日、フィラト首相の訪中

- ・11日、フィラト首相は上海万博を視察、韓正・上海市長と会談。フィラト首相は、モルドバの同万博への参加は、中国及び対中関係への関心の証左とし、モルドバ産ワインの対中輸出、インフラ整備を中心とした中国の対モルドバ投資等につき協議。
- ・13日、フィラト首相は、温家宝・中国首相と会談、二国間関係、モルドバ産ワインの対中輸出拡大等につき協議。フィラト首相は、EU市場及びCIS市場の双方にアクセスを備えたモルドバが中国投資のプラットフォームと成り得ると発言。
- ・13日、温家宝・中国首相は、中国がモルドバの洪水被害に対する支援として2011年に2,000万元(約300万ドル)を提供と発表。また、協力の最優先分野は農業と通信分野であり、モルドバに工業団地を設置することにも関心がある

と発言。

・14日、フィラト首相は、二国間経済貿易協力政府間委員会  
会合に出席、貿易経済及び投資分野における二国間協力、  
農業、ワイン製造、交通、道路インフラ等につき協議

・14日、ゲラシム運輸道路インフラ省次官は、中国のシニド  
ロ社と北京にて協力協定に署名。同社は6,240万ドルの道  
路プロジェクトを執行予定であり、同案件が中国によるモル  
ドバでの最初の大規模プロジェクトとなる見込み。

16日、フィラト首相のブラッセル訪問

・フィラト首相は、パセスク・ルーマニア大統領と会談、二国  
間関係及び今後の協力方針につき協議

・フィラト首相とレアンカ外務・欧州統合相は、マルムストロム  
欧州委員(内務担当)と会談、6月15日の査証自由化交渉開  
始後のモルドバによる改善措置等につき協議

・フィラト首相は、ブゼク欧州議会議長と会談、モルドバの欧  
州統合につき協議。ブゼク議長は、EUに統合するというモ  
ルドバの夢は、モルドバ側が一步ずつ確実に作業を進める

ことにより実現可能と発言。フィラト首相は、モルドバが現在、  
困難な時期にあるも、欧州統合は最優先事項であることに  
変わりはなく、あらゆる必要な措置を実行していくと発言。

その他

・17日、フィラト首相は、本年10月にはモルドバが対EU査  
証自由化交渉の実行局面に移る予定であり、従って査証自  
由化が18~20ヶ月で達成できる見込みと発言。

## 5 . 防衛

モルドバ - NATO個別パートナーシップ行動計画(I  
PAP)

・17日、改訂IPAPが公開。本IPAPには、中立国であるモ  
ルドバはNATO加盟を目指さないこと、防衛及び安全保障  
分野における改革の更なる最適化に関し行動計画を使用  
することへの期待などが記載。

## B . その他の動き

9 / 11 (土)

・アルメニアにおいて災害時の救援活動を目的とする野外演

習が開始。モルドバを含む25ヶ国及び5つの国際機関から  
約700人が参加。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。

(了)